

長崎地本だより

発行所
自衛隊長崎地方協力本部
長崎市出島町2番25号
TEL 095-826-8844

壱岐に掃海艇「うくしま」来る！



壱岐駐在員事務所は、12月8日(土)・9日(日)の2日間、芦辺町募集相談員の支援を受け、壱岐市石田町印通寺砂場海岸壁に入港した海上自衛隊第43掃海隊の掃海艇「うくしま」(艇長・今西1等海尉)の艦艇広報を実施し、パジェロの展示やミニ制服を着ての写真撮影等の広報活動を行いました。

当日は、二三日前の気温とは打って変わって少し肌寒い中での実施となりましたが、早い時間から親子連れの方々が、絶え間なく訪れ、艦艇見学やミニ制服を着ての記念撮影、その他熱心に掃海艇の任務、装備品の性能について隊員に質問し、来場者は一様に満足されたようでした。

今回は2日間で壱岐市長様をはじめ約500人の方が艦艇を訪れ、これまでテレビ等でしか見ることができなかった海上自衛隊の艦艇に乗ってもらいたい、実際に隊員と直に接してもらえたことで、自衛隊をより身近に感じてもらう事が出来ました。(壱岐所)

平成30年度 援護広報に参加して

去る12月6日、7日の2日間、自衛隊長崎地方協力本部様主催の自衛隊部隊研修に参加させていただきました。

初日は長崎地方協力本部に集合し、航空自衛隊高良台分屯基地へ向かいました。高良台分屯基地では、一昨年から北朝鮮の弾道ミサイル対応で話題となったPAC3の部隊を見学、こちらの部隊も長期にわたり展開されご苦労をされたことをうかがいました。お昼は

長崎県出身隊員の方々と食事を取りながら懇親をさせていただきました。次の研修地である航空自衛隊春日基地では、T-4練習機、航空機火災に対応する最新の消防車を見学、コックピットへの着座、消防車の放水タレット操作など貴重な体験をさせていただきました。

二日目は陸上自衛隊福岡駐屯地を見学、各種装備を間近で見ることができました。なかでも実際に海外派遣に参加したトラックに追加され

投稿

大村航空基地クリスマスコンサート2018開催



第22航空群(群司令・岡田海将補)は、12月14日(金)、大村市の「シーハットおむら」で、年末恒例の大村航空基地クリスマスコンサート2018を開催しました。

本コンサートは、地域住民等の海上自衛隊への理解促進を目的に、海上自衛隊第22航空群が主催し、海自佐世保音楽隊が演奏を行うもので、今年で25回目となり、市内外から約1700名が来場されました。

コンサートは2部構成で、第一部では、クリスマススの定番曲を中心に音楽隊が演奏し、第二部は隊員や隊員家族も所属するゴスペルサークル「マーシーボイス」と「歌劇ザ・レビューハイス」が一夜限りの特

別編成にて煌びやかな大人のクリスマスを演出した。クライマックスでは、佐世保音楽隊の演奏に合わせて、「歌劇ザ・レビューハイス」と「マーシーボイス」、更に来場者も一体となって「Hallelujah」を合唱し、会場全体が明るく楽しいムードに包まれました。終了後も、会場からの拍手は鳴りやまず、佐世保音楽隊によるアンコール「軍艦マーチ」の演奏で本コンサートを締めくくることができました。

来場者からは、「音楽隊の演奏や、初めて観た歌劇ザ・レビューハイスを聴くのが楽しかった。」「隊員の対応が素晴らしかった。」「来年も是非開催してほしい。」「来年も是非開催してほしい。」「来年も是非開催してほしい。」といった声が多く寄せられました。(第22航空群)

た防弾装備を見ると、危険と隣り合わせで活動にあたられていたことが実感できました。また、昨年の西日本豪雨災害への災害派遣の様子などもビデオで見せていただき、ご苦労に頭が下がる思いでした。昼食は駐屯地で隊員さんたちと同じ食事をいただきましたが、若い隊員さんが多かったこともあり大学の学食を思い出しました。

購買の店舗では隊員さんたちがあれこれと勤務や訓練で使用するであろう品々を購入しているのを見て、全て支給されるのではないんだと驚きました。その後、なかなか間近で見ることのできない陸上自衛隊の装備に後ろ髪をひかれながら帰途につき、長崎地方協力本部で解散となりました。

この二日間で隊員の方々が勤務や訓練に励まれている姿に接し、このところの災害の頻発や日本を取り巻く安全環境の変化のなかで、重要性を増して行くであろう自衛隊への感謝の思いを強くするとともに、その隊員の皆さんが

せめて駐屯地にいる間だけは少しでも良い環境で任務に当たられるようになればよいなと思います。

最後に心に残ったことの中からひとつ、福岡駐屯地で見かけた「休み歩き禁止(だつた)と思います」というポスターがあります。隊員の皆さんは日頃から駐屯地内を歩くだけでも背筋を伸ばしていることを意識しているのだなと、わが身を振り返って反省した次第です。

今回、貴重な体験をさせていただきまして、長崎地方協力本部はじめ各部隊の皆様にご心よりお礼申し上げます。

長崎総合警備株式会社
片岡 達



長崎所移転のお知らせ

昨年の12月より長崎募集案内所を移転し、新たな募集案内所にて業務を開始することとなりましたのでお知らせいたします。

新事務所は、長崎市尾上町1-88観光ビル3階となります。

新たな事務所に変更り、所員一同より一層、募集業務に邁進していきたいと思っております。どうぞ長崎市内に足を運んだ際には長崎募集案内所にお気軽にお越しください。(長崎所)



投稿

「長崎市ふくの会」ボランティア清掃に参加



12月9日(日)「長崎市ふくの会」主催の第48回ボランティア清掃活動が開催されました。海自側から三菱重工長崎造船所で修理中の護衛艦「ちよukai」(艦長・富松1等海佐)「しまかぜ」(艦長・吉福2等海佐)乗員40名及び長崎地本・防衛支局からは17名が参加し総勢57名で、長崎市川口町、茂里町、浜口町周辺の歩道清掃を行いました。

参加者は午前9時に川口公園広場に集合し、注意事項の説明や、各参加団体代表者等による挨拶の後、それぞれ3グループに別れ清掃を開始しました。

回数を重ねるたびに、以前と比べて落ちているゴミの量が少なくなってきたり、継続したボランティア活動の成果が着実に現れていると実感できました。(ちよukai)

大村航空基地におけるヘリコプター体験



長崎地本は、12月8日(土)、海上自衛隊大村航空基地において陸自西部方面ヘリコプター隊UH-1Jでの体験搭乗を行いました。

参加者は長崎県内の募集対象者、その家族及び自衛隊の協力者の方々の計50名で、はじめに搭乗前の入念な安全教育が行われ、立ちハウステンボス方面に大村湾沿いを飛行しました。青い海と美しい島々や山並みを見ながらのフライトは20分という短い時間ながらも皆さん満足そうで、「また来たい」と「自衛隊についていろいろ」などの感想をいただきました。



30年度後期地本部員集合訓練

12月20日(木)、長崎地本は、平成30年度後期地本部員集合訓練を実施しました。本訓練は、「地本部員としての識能向上を図る。」を目的とし、長崎地本の全部員が集合して年2回実施しているものです。

訓練は、前・後段に区分し、午前の前段訓練は、長崎市内の総合運動公園において、体力検定(測定)を実施し、受検者全員が自衛官として必要な基準に到達していることを確認しました。

午後からの後段訓練は、本部長から自らの要望事項と統率方針について、改めて教育が行われた後、ホテルマネージャーのインターナショナル・営業部長の大串芳弘氏を講師としてお招きし、営業マンとしての目標管理、営業活動に関する姿勢や考え方等の講演を受け、部員一同が感銘を受きました。

最後に市内ホテルにて開催



した意見交換会では、部員約80名が一堂に会し、6月以降の転入者の紹介、これまでの成果と課題について認識を共有するとともに、部員相互の親睦を深め盛会裏に閉会しました。(総務課)

お知り合いに興味のある方いませんか?

自衛官採用 32歳まで

「守りたい。その決断は遅くない!」

自衛隊長崎地方協力本部
(長崎市出島町2-25) 095-826-8845



【転入者】
島原地域事務所へ
3等空曹 平田 侑衣

人事

1月15日付

よろしくお願ひします